

耳よりセンターだより

2019年11月1日発行

138

発行元：山口県聴覚障害者情報センター 〒747-1211 山口市鑄銭司南原2364-1
TEL 083-985-0611 FAX 083-985-0613
<http://www.c-able.ne.jp/~lookym33/> メール lookym33@c-able.ne.jp

このたびの台風15号、19号、豪雨により、被災された方々の1日も早い復興を、情報センター職員一同、心からお祈り申し上げます。

山口県健康福祉部障害者支援課から

山口県手話言語条例を制定しました！

令和元年度9月山口県議会に上程されていた「山口県手話言語条例」が10月4日（金）に可決・成立し、10月8日（火）に公布・施行されました。全国で284番目、都道府県では27番目の成立となります。

昨年の6月県議会で、村岡嗣政知事が「条例の制定に向けた検討に着手する」との意向を表明し、昨年9月に山口県手話言語条例検討委員会を立ち上げました。山口県ろうあ連盟の赤井理事長や、聴覚障害者情報センターの所長にもその委員として加わっていただき、計5回の検討委員会において熱心な御討議をいただきました。このたび条例が成立に至ったのは、ひとえに関係者の皆様の御尽力のおかげであり、改めて心より御礼申し上げます。



本県条例の特徴は、言語である手話を習得できる環境を整備することにより、聴覚に障害のある子どもの「育ちの保障」を目指しているところです。10月15日（火）に東京で開かれた「手話言語の認知と手話言語法早期制定を求めるフォーラム」においても、聴覚に障害のある子どもは、可能な限り早い段階で言語として手話を獲得することが必要との意見が相次いでなされました。本県条例においても、手話を習得できる環境が十分に整備されていないことから、聴覚障害者は意思疎通のみならず、成長の過程で思考力や表現力を身につけ、豊かな人間性をはぐくむ上でも困難な状況にある、と前文で問題提起しており、この解決のため、乳幼児期から家族と共に手話を習得できる環境の整備に取り組むこととしています。

また、多くの方に手話に接していただくため、県と山口県聴覚障害者福祉協会との共催により、「あいサポート手話フェスティバル」を今年12月に開催する予定であり、手話の普及に一層努めてまいります。

本県条例の目標は、手話で生活できる地域社会の実現、これを私たちは「手話言語による生活維新」と名付けました。今後も関係者の皆様と連携しながら目標に向かって取り組んでまいりますので、御理解、御協力をよろしく願います。



行事報告



令和元年度山口県手話通訳者養成講座 ・ が終わりました

9月8日(日)に修了式を行いました。今年度の修了者は6人でした。1日でも早く手話通訳者として、ご活躍されますことを期待しています。



令和元年度山口県盲ろう者通訳・介助員養成講習会が終わりました

今までの学習の総まとめとして、8月31日(土)盲ろう者と一緒に電車に乗って新山口駅に行き、4~5人のグループに分かれて、移動介助実習と通訳介助実習を行いました。実際に経験することで、より理解が深まったことと思います。

最終日の9月15日(土)は、福祉制度や通訳・介助員としての心構えなどを学びました。今年度は、12人の方が修了されました。これからも盲ろう者と心の交流を深められ、盲ろう者福祉の担い手として活躍されることを期待しています。

令和元年度山口県手話通訳者養成講座 が始まりました

令和元年9月22日(日)から、手話通訳者養成講座 が始まりました。令和2年1月5日(日)の修了日までに、全12回の講座が実施されます。

第19回山口県聴覚障害者情報センター祭り開催される!



10月27日(日)、第19回山口県聴覚障害者情報センター祭りが山口県聴覚障害者福祉協会後援会主催で開催されました。

メインステージでは、山口南総合支援学校中学部・高等部有志による「陶ヶ岳太鼓」を始め、宇部手話会によるダンス「パプリカ」、日本けん玉協会山

口県支部による「けん玉パフォーマンス」が披露され、最後には、後援会による「ビンゴゲーム」で締めくくりました。

また、前回に引き続き、ステージ音声については、スマホ・タブレットへ字幕配信が行われました。他にも、山口南警察署による「パトカー展示」、県要連の「岡村商店」、山口市三団体合同の「輪投げ・野菜販売」等の販売がありました。露店からは、うどん、焼きそば、パン等の食欲をそそる匂いがただよっていました。室内では、バルーンアート、白壁うまいもん屋、遊休品、かたん!ストレッチ体験、けん玉教室・けん玉検定、VR体験、書籍販売・グッズ販売が行われました。当日は朝からお天気に恵まれ、皆さん楽しく過ごされていました。

手話奉仕員養成講座講師講習会のご案内

令和2年1月26日(日)10時~16時、山口県聴覚障害者情報センターにて、手話奉仕員養成講座講師講習会を開催します。講師は、山口県ろうあ連盟事務局長 塚原辰彦氏で、研修費は2,000円です。県内各市町の手話奉仕員養成講座担当講師及びこれから指導に携わる人が対象です。詳しい内容は、後日、当センターホームページ等にて、お知らせする予定です。スケジュール調整をよろしくお願ひします。

字幕ビデオライブラリーだより



2019年8月1日に新しい字幕付DVDが入荷しました。

利用区分	分類番号	番組名
A-3	140~142	くまもと聴障ビデオマガジン「みるっく」 2019年8月号~10月号

日本語字幕付き映画上映のお知らせ

マチネの終わりに

日：2019年11月10日(日)~13日(水)

会場：MOVIX周南(下松市中央町21-3ゆめタウン下松内)

FAX 0835-22-9067 TEL 0835-22-9066



上映時間については、別途、各関係団体等にお知らせします。

聴覚障害者向け「110番アプリ」及び 「NET118」の運用開始！

9月27日から、スマートフォン等を利用した聴覚障害者向け「110番アプリ」の運用が開始されました。このアプリにより、全国どこにいても緊急通報が可能となりました。

また、11月1日からは、聴覚や発話に障がいを持つ方を対象にスマートフォン等を利用した「NET118」のサービスが運用開始されます。これにより、海上保安庁への緊急時通報が可能となります。

110番アプリ、NET118について、詳しくは、山口県聴覚障害者情報センターまでお問い合わせください。

FAX 083-985-0613 メール lookym33@c-able.ne.jp

法人創立20周年記念行事のお知らせ

社会福祉法人山口県聴覚障害者福祉協会は、平成11年3月30日に設立され、今年で20年を迎えました。その記念行事を下記のとおり、開催いたします。

日時：令和元年12月14日(土) 13:30~15:00

場所：山口県立大学講堂(山口市桜島3-2-1)

内容：式典(挨拶、表彰)

記念講演「聴覚障害者が暮らしやすい地域を目指して」

講師：石野 富志三郎 氏(一般財団法人全日本ろうあ連盟理事長)

11～1月のセンター・法人主催行事予定

11月	2日(土)	要約筆記者養成講座⑳・パソコン実技㉑ (陶地域交流センター)	
	3日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳	
	9日(土)	要約筆記者養成講座㉓・共通㉔ 手話通訳者登録試験対策講座	
	10日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳	
	16日(土)	要約筆記者養成講座㉔・共通㉕ 手話通訳者登録試験対策講座	
	17日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳 法人主催 中間理事会	
	24日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳	
	30日(土)	第2回要約筆記者現任研修会 (パソコン実技)	
12月	1日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳 法人主催 第2回20周年記念事業実行委員会	
	7日(土)	山口県手話通訳者登録試験	
	8日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳	
	14日(土)	山口県主催 あいサポート手話フェスティバル (山口県立大学) 法人主催 創立20周年記念行事 (山口県立大学)	
	15日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳	
	21日(土)	要約筆記者登録試験対策講座	
	22日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳	
1月	5日(日)	手話通訳者養成講座・手話通訳	
	11日(土)	要約筆記者登録試験対策講座 (手書き実技)	
	12日(日)	要約筆記者登録試験対策講座 (パソコン実技)	
	18日(土)	手話通訳者現任研修会	
	19日(日)	手話通訳者養成講座担当講師現任研修会	
	25日(土)	要約筆記者登録試験対策講座	
	26日(日)	法人主催 手話奉仕員養成講座講師講習会	

当センター開閉館のお知らせ

あいサポート手話フェスティバルの開催のため、12月14日(土)を閉館し、12月18日(水)を開館いたします。

各種データ

	7月	8月	9月	合計
利用者数	625人	734人	342人	1,701人
ビデオライブラリー	17本	7本	10本	34本
手話通訳派遣者数	25人	21人	34人	80人
要約筆記派遣者数	41人	38人	16人	95人